

## 第2学年 体育科学習指導案

指導者

### 1 単元名 「てつぼうあそび」(全7時間)

### 2 学習を進めるにあたって

#### めざす子どもの姿

- 支持やぶら下がり、易しい回転などができる子ども(技能)
- 友達と仲よく運動したり、よいところを伝え合ったりして、進んで運動ができる子ども(態度)
- 自分の力にあつためあてをもって活動し、遊び方を工夫したり選んだりすることができる子ども(思考・判断)

#### こんな教材で こんな学習過程で

- 鉄棒を軸にして、支持、ぶら下がり、易しい回転を基本の動きとした運動遊びである。また、できる技から少しの工夫で多くの遊びに発展することができる運動である。
- 本単元では、ステージ型の学習過程をとり、第2・3時では、いろいろな回り方や遊び方を体験させ、十分に楽しむ時間を設定する。第4時からは、第3時までには経験した遊びをもとに友達との交流を楽しむ時間を設定する。
- 各時間の始めに「サスケタイム」という基礎・基本となる動きの感覚を身につける運動を設定する。基礎・基本となる動きの感覚を身につける運動の内容としては、高さ感覚を養うためにろくぼく遊び、ぶら下がり感覚を養うためにダンゴ虫リレーを取り入れる。

#### こんな支援で

- ① 評価基準の活用  
運動の特性や児童の実態を踏まえ、評価基準を設定した個に応じた支援を行う。
- ② 教師の声かけ・友達との関わり方  
いろいろな動きを見つけて活動を楽しんでいることを称賛し、価値付けしていくようにする。また、意識してほしい動きを擬音化し、子どもたちが動きをイメージしやすいようにする。
- ③ 学習ノートの工夫  
できる運動や遊びを楽しむことに重点を置くために、自分が取り組んだ遊びや友達のよかったところをノートに記録する。また、友達と交流するきっかけになるようなポイントを全体に提示し、交流を促すようにする。
- ④ 活動の場・学習環境の工夫  
準備・後片付けが協力してできるように、グループごとに決められた鉄棒を使うようにする。さらに、マット、逆上がり補助器具などを用意し、怖がることなく、安心して活動できるようにする。

#### こんな子どもだから

- 体育の学習が大好き・どちらかと言えば好きの子どもが27名。
- 鉄棒運動が大好き・どちらかと言えば好きの子どもが20名。
- 鉄棒運動の学習で楽しいと感じるのは「できたときのうれしさ」「友達と一緒に学習する楽しさ」「鉄棒にぶら下がる楽しさ」。嫌だなと感じるのは「技のコツがわからない」「回る感覚」「友達と教えあっていない」
- 鉄棒にぶら下がり、前後に体を振ることは得意だが、高い場所や易しい回転技に対して、苦手意識をもっている児童が多い。
- 友達と交流する際、友達のよいところを見つけることはできるが、伝え合う活動には至っていない。
- 1学期の跳び箱・マット遊びでは、自分たちで安全に遊びを行えるようなルールを作り、場を工夫して遊びに取り組んでいた。
- 固定遊具遊びでは、ろくぼくをまたぎ越したり、ジャングルジムで鬼ごっこをしたりして遊んでいる。
- 準備・後片付けは、自分の役割に責任をもって行うことやグループのメンバーと協力して行っている。

## 第2学年 体育科学習指導案（本時案）

指導者

1 本時 平成24年 月 日（ ） 公開Ⅱ 本校運動場にて

### 2 本時の中心となる評価規準

- 自分のできる遊びを連続したり，組み合わせたりする運動遊びができる。（技能）
- 自分の力に合った遊びや高さの鉄棒を選んだり，正しい動きで遊んだりしている。（思考・判断）

### 3 本時学習を進めるにあたって

前時までには子どもたちは，いろいろな高さの鉄棒でいろいろな動きや遊びに取り組むことができるようになってきている。また，「サスケタイム」では，ろくぼくや鉄棒を利用して，高さ感覚とぶら下がり感覚を身につけてきている。第4時からは，おでかけタイムで友達との交流を通して遊びを広げてきている。

そこで本時は，自分のできる動きで友達と遊びを考えながら鉄棒遊びをさせたい。そのために，動きを紹介するボードを見せたり，「あそびずかん」を見せたりして助言する。また，「おでかけタイム」の中で，意欲的に遊びを紹介したり紹介された遊びに意欲的に取り組んだりしている子どもを称賛していく。

### 4 準備

鉄棒 鉄棒の動きカード 鉄棒動き掲示物 マット CDデッキ

### 5 展開（5／6時）

分	子どもの主な学習活動	教師の支援活動
0	1 学習の準備をして，「サスケタイム」をする。 ○ ろくぼく遊び ○ ダンゴ虫リレー	○ 安全な場作りができていないか確認する。 ※ 友達と協力して，安全にマット等の学習の準備をしようとしている。（観察） ○ 「サスケタイム」への取り組み方を称賛する。
10	2 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;">                         めあて いろいろな高さの てつぼうで てつぼうあそびを しよう！                     </div>	
15	3 鉄棒遊びをする。 ○ 友達との交流をしながら，遊び方の工夫をする。  ○ 違う場に行って，遊んでみる。（おでかけタイム） ○ 友達のよい動きや遊びを見つける。	○ 動き方や遊び方を工夫している子を称賛する。 ※ 自分のできる遊びを連続したり，組み合わせたりする運動遊びができる。（観察） ○ 動きや遊びを広げるために，工夫する視点を与える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                         工夫の視点                          ①回数 ②距離 ③組み合わせ ④その他など                     </div> ※ 自分の力に合った遊びや高さの鉄棒を選んだり，正しい動きで遊んだりしている。（観察） ○ 友達のいいところを見つけている子どもを称賛する。 ○ 友達のよい動きや遊びを参考にするように助言する。
35	4 学習の振り返りと後片付けを行う。 ○ 学習ノートを記入し，書いたことを発表する。 ○ 安全に気をつけて，協力して後片付けをする。	○ 学習ノートを書けない児童に声かけをする。  ○ 自分がかんばったこと・友達のよかったところを発表させる。
45		